

Assemble

自由に構成する型

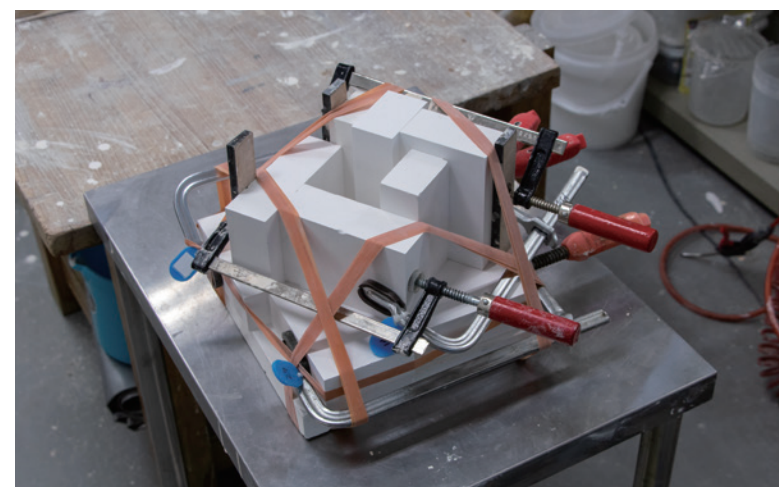
品川 及

型の可能性の拡張

鑄込みという本来量産時に用いられる成形方法に、個性差や一点物という趣向を持たせようと試みた型。この型は、組み方が決まっていたり、一つの型で一つの形状が作れるという既存の概念にとらわれず、量産品を作るという機能に留まらない新たな型の可能性を提示する。

Expanding the Possibilities of molds

This is a mold that attempts to add a touch of individuality and one-of-a-kindness to the molding method of casting, which is normally used for mass production. Unlike existing molds, there are no rules on how to assemble them, and plaster blocks are piled up and poured inside each time. Since there are no restrictions, a variety of shapes can be created.



本来、型にはツメという凹凸があり、しっかりと噛み合うように出来ていて、同じ形の物を均質に量産することを目的としている。

今回制作した型は組み方のルールを無くし、ブロック状の石膏を積み上げ、その内側を型とする事で様々な形状を作ることができる。また、同じような形を作ろうとしても必然的にズレが生じ、個性差が生まれる。

型を組むという行為に「偶然性」や「偶発性」という不確定な要素が介在することで量産品という無機質なものを、一点物へと昇華する。